

公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会

令和3年度 事業報告

第I 概要

一昨年以降、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」という。）の感染拡大という事態に見舞われ、雇用情勢を始め社会経済活動は大きな影響を受けました。令和3年度に入ってワクチン接種が進み、重症化の予防に繋がりましたが、デルタ株、オミクロン株などの変異株の出現により、第3波から第6波までの流行が繰り返され発生しました。

シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）についてみると、新規入会者数は、前年度に比べ約1割増加しましたが、退会者数が前年度を上回る状況となり、結果として前年度末に比べ610人減（2.6%減）の23,248人となりました。

また、受注額は、請負・委任では新型コロナウイルス拡大前の令和元年度に比べて約6%の減ですが、派遣についてはほぼ令和元年度の水準に戻っています。

このように令和3年度は、会員拡大という最重要課題に関しては、厳しい結果となりましたが、シルバー人材センター（以下「センター」という。）の会員の皆様には、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の指定が繰り返される中で、感染防止対策に留意しながら就業を継続していただきました。

この1年間、会員、センター及び公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という。）が力を合わせて取り組んだ主な事業を次のとおり報告します。

- ・ シルバー事業の普及啓発活動については、多数の参加者が予想されるシルバーフェスティバルや、感染者の急増期と実施時期が重なったシニア応援セミナー（福岡地区）や一部の技能講習は開催を中止したが、他の事業は、感染防止措置を講じることで概ね実施することができた。
- ・ 一般のシニア層に対する入会促進のための広報活動については、センターで行っている1会員1人入会活動や地域での啓発に加え、国からの受託事業である高齢者活躍人材確保育成事業を活用し、テレビ、新聞等のマスメディアによる広報を実施した。
- ・ 女性会員（シルボヌ）拡大に関するセンター及び連合会の女性事務局職員による委員会での検討結果を踏まえ、インスタグラムやフェイスブックでの会員拡大のための広報を実施した。
 - ※ テレビ、新聞、市町村広報紙での会員募集広告を含めた、これらの広報が入会のきっかけとなった新規入会者は249人
- ・ 安全・適正就業推進事業に関しては、安全・適正就業対策委員会（3回開催）による計画の策定と取組みの検証、安全パトロール（8センター）及び、安全就業促進大会（11月）を実施した。
 - ※ 請負・委任 傷害事故135件(前年度比15件増)賠償事故138件(前年度比9件減)
派遣 傷害事故 15件(前年度比3件減) 賠償事故 3件(前年度比3件増)
- ・ 指導・相談事業については、17センターを訪問して、法人運営・会計や請負等の

契約業務、会員拡大の取組み等について、福岡労働局、福岡県及び連合会から助言を行った。

- ・ 役職員研修会、理事長研修会及び監事研修会、安全・適正就業推進員研修会及び請負・委任に係る業務担当職員研修会等の研修事業については、一部オンラインでの実施を含め対応し、実施した。

以上、概況ですが、これらの事業運営に当たっては、福岡労働局職業安定部及び福岡県福祉労働部労働局の指導を得ながら実施するとともに、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）と緊密な連携を図りながら、シルバー事業の推進に努めました。

第Ⅱ 事業

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係わる就業機会の確保や社会参加活動のための支援（公益目的事業）

〔就業開拓提供等事業〕

連合会は、高齢者の希望や体力・能力に応じ「請負・委任」による就業を県内全域で一体的に推進し組織的に提供するため、センターと強固な連携のもと、協力して地方公共団体、地域の企業、家庭等をサポートする多種多様な仕事について就業開拓に取り組むこととし、活動支援を行った。

（１）受託事業（一般）

雇用によらない請負又は委任による就業の支援については、関係法令に基づき、高齢者の就業の場として相応しい「臨時的かつ短期的」又は「その他軽易な業務」に係わる就業の機会を確保するため、新たな事業の創出や仕事の開拓を行い、受注の促進を図った。

〔主な就業分野〕

屋外作業（剪定、草刈り、草取り、屋外清掃、空き家・墓地管理等）

屋内作業（屋内清掃、施設・駐輪（駐車）場管理、福祉・家事援助サービス、子育て支援、商品梱包作業、環境リサイクル業等）

① 広域需給調整

高齢化の進展と共に地域ニーズや発注者ニーズも多様化し広域的な需給調整の必要が生じている。しかしながら、各センターの作業単価及び作業環境もそれぞれに違うなど、広域受注には諸々の問題がある。派遣では広域受注を行っている職種もあり、請負においても部分的には県内のセンターが対応できる体制を支援した。

② 未設置地域の解消

福岡県及び近隣センターの協力を得て、未設置町村に対し各地域の高齢者が、いつでも、誰でも、どこでも、シルバー事業に参加できるようセンターの設置を促進した。

(2) 受託事業（業務委託）

国及び地方自治体の意向に沿って、一般競争入札等へ参加し、地域高齢者の就業の場の確保に努めるとともに、当該受託事業に関連した会員や地域と一体となつての活動及び子育て等を応援し、地域活性化に役立つ情報の収集及び提供を行った。

(3) 独自事業

高齢者の就業機会の拡大を図るため、各センター独自の創意と工夫により、「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他軽易な業務」に係わる地域独特の事業の創出による高齢者の生きがいの充実及び地域活性化に資する事業を支援した。

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務に係わる就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

県内の高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、高齢者の労働能力を活用した地域社会づくりを促進するため、シルバー派遣事業及び職業紹介事業等により提供した。

(1) シルバー派遣事業

「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき、実施センターと連携・協力して、派遣会員の円滑な就業の促進を図り、臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務の就業の範囲において、派遣労働を希望する高齢者の登録を推奨し、シルバー派遣事業を積極的に実施した。

(2) 職業紹介事業

「臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務」に係わる求人・求職を受け、センターを通して就職を希望する高齢者に対して必要な情報の提供・相談・助言等を行い、職業紹介事業を実施した。

(3) 雇用・就業の促進

民間企業、各種団体など的高齢者の雇用や就業についての情報を収集・提供し、高齢者の雇用及び就業の推進を図った。

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するため、普及啓発事業等及び情報の提供、安全・適正就業事業、研修・講習事業、指導・助言等事業、調査研究事業を実施した。（公益目的事業）

1 普及啓発事業

センターの基本理念のもと事業の発展と拡充を目指し、センター会員の活動状況等を一般に幅広く広報し、シルバー事業が地域社会において更に理解が深まるよう、普及啓発活動を実施した。

(1) 広報活動

会員の増強や就業機会の拡大を図るため、県内全域の家庭、企業、公共団体等を対象とした、身近で気軽に利用し相談しやすいコーナーを設置し、その効果を上げる

ため全センター共通の広報用品を作成し配布した。

(2) 社会参加活動

連合会は、高齢者の多様な就業・社会参加ニーズに対応した総合的な就労支援センターとして、就業等に関する相談・情報等を収集・提供するとともに、センター会員によるサークル活動等を通してボランティア活動など地域に寄与、貢献する活動を活用した地域環境の整備、子育て支援、学童見守り等、地域に歓迎される活動を促進し、高齢者の社会参加を支援した。

(3) 地域交流活動

地域の活性化推進グループ等と連携し、地域行事や会議等へ積極的に参加し交流の輪を広げる活動を行った。

2 安全・適正就業推進事業

シルバー事業の就業について「安全は全てに優先する」との理念のもと安全・適正就業対策委員会による組織的な活動を行った。

安全就業の啓発を目的に委員による現場パトロールを実施、安全就業の徹底と安全意識徹底を指導・助言した。

適正就業は、ガバナンス（内部統制）及びコンプライアンス（法令遵守）の確立を目指し、高齢法で定める「臨時的かつ短期的」又は「その他軽易な業務」をローテーション就業によるワークシェアリング（仕事の分かち合い）で実施すること等を徹底するため、適正な就業について、研修会等を開催した。また、指導・相談業務等を通して就業の適正化に努めた。

3 指導・相談事業

(1) 法令遵守の業務運営

地域のニーズ及び関係法令等に的確に対応した事業展開及び円滑に事業を実施するために適宜情報の収集・提供を行い指導・相談・助言を行うとともに、知識・企画力の向上を図るための支援を行った。

(2) 適正な財産運用、専門家による助言・指導

公益事業活動の拡充に努め、地域社会の信頼を得るとともに、事業の拡張を図るため、保有する財産等の管理について、公認会計士及び連合会でセンター事業の経理・業務等全般について実地検査を行い、適正な経理処理及び運営上の諸課題等について適切な助言、指導を実施した。また、弁護士による法人運営やセンター業務の相談に関する助言、指導及び社会保険労務士による労務に関する助言、指導を行った。

(3) 就業相談及び入会説明会への支援

地域高齢者及びセンター会員等の来訪、電話等による、就業及び入会等に関する相談の助言等を行った。

(4) 各地域(ブロック)への情報の提供及び相談・指導

各ブロックでセンターが抱える事業運営上の課題や問題点等について連合会職員を派遣し、相談・助言及び指導等を行いシルバー事業の適正な運営を図った。

4 研修・講習等事業

シニア世代に対する社会環境の急激な変化に伴い、自立した運営の重要性の認識と人材の育成を目的とした研修会や講習会を開催した。また、様々な仕事に携われる会員の育成や多様化するシルバー事業に供する事業に対応するよう、高齢者の知恵と技を生かすセミナー、高齢者のサポート等に関する研修会等、センター役職員・会員及び職員や一般高齢者を対象とした研修会を開催した。

(1) 技能講習等事業

一般の高齢者を対象に、雇用及び就業のための技術・技能の習得・向上を目指し講習を行った。

(2) 研修・講習事業

センター役職員や実務担当職員等を対象に運営上の諸課題及び適正な業務・会計処理等について理解と知識の付与を目的に研修・講習会を実施した。

また、福祉・家事援助サービス、子育て支援事業では、「福岡県70歳現役応援センター」（以下「70歳現役応援センター」という。）と連携し、会員および一般高齢者が行う子育て支援について地域ニーズにマッチする研修会等を開催した。

- ・全シ協が行う研修会等への参加
- ・九州ブロックシルバー人材センター連絡協議会が行う研修会等への参加

5 調査研究事業

センターを取り巻く社会環境の変化にともない、高齢者の雇用・就業の状況や多様化する発注者ニーズ等の情報を収集しセンター事業の統計・分析に活かし、全国のシルバー事業の好事例等及び社会参加活動等に関する情報を収集し周知を図った。

また、公益社団法人としての運営上の諸課題、法人の維持及び公益事業等について調査研究を行った。

第Ⅲ 個別実施事業

1 普及啓発活動

(1) 広報活動

新聞・ラジオ・テレビ等マスコミを活用して、会員の入会促進、仕事の受注、会員活動、派遣事業、研修・講習等の情報を広く広報した。

① 連合会事業活動の周知徹底を図った。

- ・機関誌「シルバー連合会ふくおか」の発行
47号を2月に26,000部発行 県内SC会員、関係各所に配布
- ・ホームページでの情報提供

連合会ホームページのリニューアル（3月23日～）

女性会員拡大を意識してキャラクターを一新、新たなコンテンツとして各センターの話題やイベントなどを情報発信できるページを設置することともに、スマートフォン対応、YouTube・SNSへのリンク設定により、使い勝手の向上を図った。

- ・リーフレット、チラシ、啓発用品の作成・配布

啓発用品としてメモ帳80,000部、リーフレット25,000部を作成、各センターへ配布した。（9月）

② 入会促進やシルバー事業の充実強化のために広報活動等を実施した。

- ・全国シルバー人材センター事業普及啓発促進月間における広報活動の実施
- ・連合会長・センター理事長連名による全シ協総会決議文の作成・提出（7月）及び普及啓発月間における支援要請の作成・提出（9月）

- ・シルバーフェスティバル（10月実施予定）について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。（7月）

- ・「臨・短・軽」のシルバー事業の特徴を生かした広報活動の実施

- ・センター入会等促進のためメディアやイベントを活用した広報活動の実施

中州ジャズにおけるサンプリング（メモ帳、リーフレット）1,600部（11月26日～28日）実施 11月23日～30日KBCラジオCM21本放送
KBCラジオアイタカーによるラジオ生中継 3月8日 太宰府市SC出演
新聞広告 3月15日（火）西日本新聞（北九州版・筑後版）

3月16日（水）毎日新聞（北九州版）、読売新聞（筑後版）に掲載
情報紙（リビングふくおか）での記事広告 3月12日号に掲載

Facebook（フェイスブック）・Instagram（インスタグラム）での広告バナーにより、入会促進の広報を実施 2月14日～3月13日

テレビCMによる広報を実施 3月18日～31日

- ・女性や企業退職（予定）者層を意識した入会促進のための広報活動の実施

「女性会員拡大に関する提言」の課題「今までと違うアプローチ、方法・手段への取組み」を女性会員（シルボンヌ）拡大に関する委員会が中心となり、実験的にSNS（Instagram、Facebook）を活用した女性会員募集及び活動内容の紹介を行った。（9月6日～）

シニア世代の女性をターゲット層とし、会員募集の広告バナー（リンク先は連合会ホームページ）をLINE上に掲載した。（12月15日～1月10日）

Instagram（インスタグラム）に投稿し、紹介した写真を一冊にまとめた、女性会員（シルボンヌ）の活動紹介『フォトブック』作成・配付（60冊）

③ 福岡県高齢者子育て支援推進事業による普及啓発活動を推進した。

- ・70歳現役応援センターと連携、シルバー事業及び「福岡県高齢者子育て支援推進事業」（県からの受託事業）を幅広い層へ広報し、ボランティア活動や就職及び就業等社会参加の場を開拓した。

- ・子育てマイスター認定研修会開催案内等のチラシの作成・配布

5, 000部を作成し、各SCおよび市町村担当課、関係機関等に配布・設置・関係機関を訪問しての子育てマイスター事業を周知・広報した。

④ 高齢者活躍人材確保育成事業による普及啓発活動を推進した。

・会員拡大や就業機会の開拓のために実施する本事業に係るリーフレット、チラシの作成・配布及び新聞、テレビ等による広報を実施した。

テレビによる会員募集の周知・広報

15秒CM(2種類)に加え、30秒CMを制作し、KBC及びTVQで放映(9月~1月、3月)するとともに、連合会ホームページ及びYoutubeに掲載した。また、10月9日放送のTVQ「みみよりサタディ!」に大木町SC、10月19日放送のKBC「アサデス。」30秒PRに福岡市SCの会員が、2月17日には北九州市SCの会員がそれぞれ出演し、会員募集PRを実施した。

⑤ 公益活動に係る寄附金募集の啓発を行った。

(2) 社会参加活動の推進

① 各地域でのボランティア活動を推進した。

② 子育てマイスターのグループ化を促進し、会員や子育てマイスターの知恵と経験を生かした子育て支援活動を推進した。

③ 子育てマイスターの更なる活躍を目指し活動先の開拓やマッチングの強化を図った。

④ 各自治体及び地域高齢者団体等が行うセミナーや講習・研修会などを情報提供し、地域で取組む社会参加活動を支援した。

(3) 地域交流活動

① 市町村、社会福祉協議会、ファミリーサポートセンター、保育所、NPO等と連携を図り県内全地域へ交流活動の輪を広げた。

② 県内の商工会議所等の経済団体や連合福岡等の労働団体と連携を深め、就業の場の拡大や会員拡大を図った。

(4) 独自事業

センター事業の活性化を目指し、会員の豊富な経験・知識を活用し、地域の特性を生かした事業の創出を支援した。

① 実施センターへの助言・相談等の支援

② 他都道府県のセンターの独自事業について情報の収集・提供

③ 県内センターが実施している地域の特性を生かした事業の紹介

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業の周知・徹底

「安全は全てに優先する」との理念のもと就業会員の安全意識の高揚を図り、事故のない安全な就業の徹底を目指し、現場パトロール等を強化した。

① 安全・適正就業対策委員会の開催 (年間3回)

・安全就業基本計画、年間実施計画の策定、事故分析、改善策の検討

4月21日(水)第1回開催

県中小企業振興センター

10月22日（金）第2回開催 県中小企業振興センター

3月15日（火）第3回開催 //

② 安全・適正就業パトロールの実施、改善指導

・計画的なセンター訪問によるパトロール活動の実施 (年間8回)

7月21日（水）八女広域SC

8月 4日（水）柳川市SC

10月 6日（水）筑紫野市SC

10月13日（水）志免町SC

10月20日（水）筑後市SC 大雨のため8月18日から延期

10月27日（水）行橋市SC 緊急事態宣言のため 9月 1日から延期

11月10日（水）嘉麻・桂川広域SC 緊急事態宣言のため 9月15日から延期

11月16日（火）須恵町SC 緊急事態宣言のため 9月29日から延期

③ 安全就業促進大会の開催 (年間1回)

11月30日（火）福岡市立東市民センター (7月8日（木）開催延期)

出席者 163人

令和3年度安全就業優良センター8センターの表彰

(筑紫野市SC、志免町SC、遠賀町SC、みやこ町SC、飯塚市SC

直方市SC、小郡大刀洗広域SC、筑前町SC)

令和3年度安全標語入賞作品8点の表彰

(最優秀賞 【安全は基本動作の積み重ね一人ひとりが責任者】

久留米市SC 内藤 参生会員)

(2) 適正就業の徹底

① 安全・適正就業推進員研修会 (年間1回)

3月17日（木）県中小企業振興センター 参加者40人

② 適正就業の相談、助言、指導 (適時実施)

・来訪、個別訪問、電話等による相談・助言、指導の実施

③ 県内各ブロックの安全・適正就業に関する研修・講習等の支援

・各ブロックの要請に基づき、研修、講習会等の支援を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。

3 シルバー派遣事業の実施

事業実績 (4月～3月末)

就業実人員	就業延人員	契約金額
2,968人	266,449人日	1,266,269,493円

(1) シルバー派遣事業に関する情報の収集及びセンターへの提供

① 全シ協等が実施する派遣元責任者講習の受講促進 (年間1回)

1 1月12日（金） 県中小企業振興センター 県内から41人参加

② 労働局等主催の会議・研修等の情報の収集・提供

(2) シルバー派遣事業運営体制の充実・強化

① 実施事務所（センター）が行う業務に関する支援

・実施事務所（センター）に対する指導・相談の実施 （年間5回）

3月16日（水）篠栗町SC、須恵町SC、志免町SC、粕屋町SC、新宮町SC訪問

②実施事務所（センター）との連携体制の強化

・派遣事業実務担当者会議 （年間2回）

1月27日（木）県中小企業振興センター 2グループ 21人参加

1月28日（金）博多サンヒルズホテル 2グループ 19人参加

(3) 法第39条に基づく業務拡大の促進

法第39条に基づく業務拡大についてセンターの意向を踏まえ拡大を検討した。

(4) 産業保健活動（安全衛生・健康管理）等の対策

労働安全衛生法に基づき労働安全衛生体制の充実・強化を図った。

・派遣会員が常時50人以上の実施事務所（センター）における衛生管理者、産業医の配置及び衛生委員会の設置を進めた。

・産業医の配置と衛生委員会の開催（毎月）（福岡市・北九州市）

4 職業紹介事業の実施

(1) 有料職業紹介事業に関する情報の収集及びセンターへの提供

① 全シ協等が実施する有料職業紹介責任者講習の受講促進 （年間1回）

10月26日（火） 県中小企業振興センター 県内から17人参加

② 労働局等主催の会議・研修等の情報の収集・提供

(2) 有料職業紹介事業の運営体制の充実・強化

センターに対する指導・相談の実施

職業紹介実績（4月～3月末）

常用就職件数	臨時就職件数	日雇就職延数	就業実人員	契約金額
3件	0人日	0人日	52人	1,888,344円

（実施事務所；福岡市、筑紫野市）

5 指導・相談事業

(1) 指導・相談業務の実施

事業運営上の諸課題、適正な会計処理等について指導・助言等を行った。

① シルバー事業の実施状況等に関する情報収集と必要な助言の実施

② 公認会計士・弁護士・社会保険労務士と顧問契約を締結し、専門家による助言が受けられるようにした。

③ 全シ協からの依頼に基づき福岡労働局・福岡県・連合会（顧問公認会計士による指導

を含む。) 合同の会計及び業務に関する指導・相談を実施した。(年間17SC)

6月 2日(水) うきは市SC センター会議室

6月 7日(月) 大木町SC //

※6月実施のうきは市SC・大木町SCは令和2年度実施予定を延期したものの。

9月30日(木) 筑紫野市SC センター会議室

10月 5日(火) 太宰府市SC //

10月 7日(木) 宮若・小竹SC //

10月14日(木) 築上町SC 築上町サイクワラサ`会議室

10月26日(火) 田川地区SC センター会議室

10月28日(木) 糸島市SC //

10月29日(金) 苅田町SC //

11月12日(金) 飯塚市SC //

11月26日(金) 大牟田市SC //

11月29日(月) 大川市SC //

12月 3日(金) 八女広域SC //

12月 8日(水) みやま市SC //

12月15日(水) 那珂川市SC //

12月22日(水) 新宮町SC //

1月14日(金) 朝倉市SC //

(2) 就業相談及び入会説明会への支援

① センター会員及び一般高齢者を対象に来訪や電話等による就業、就職及び社会参加活動等に関する随時相談の実施

② 70歳現役応援センター内に「センター相談窓口」及び「ふくおか子育てマイスター相談窓口」を設置、雇用・就業相談員及び子育てマイスター活動支援員を配置し、来訪者及び電話等での相談に対応、研修会の案内、受講申込み説明、受付等を行った。

(3) 各地域(ブロック)への情報の提供及び相談・指導

県内各ブロック協議会が行う研修活動経費の支援を行うとともに、研修講師等として連合会職員の派遣を行った。

・県内4ブロック協議会の研修活動等に対する支援と連合会職員の派遣

12月23日(木) 京築地区経理担当職員研修会

リブリオ行橋 7人

1月12日(火) 筑豊ブロック理事長・事務局長会議

飯塚市SC 10人

6 未設置町村へのセンター設置の推進

センター未設置の6町村に対して高齢者の就業活動促進のため、各町村を訪問し、センターの設置を働きかけた。

[未設置市町村(宇美町、芦屋町、水巻町、鞍手町、東峰村、吉富町)]

- ・県内及び他都道府県のセンターの活動状況の提供
- ・センター設置のメリットの説明
 - 2月14日（月）水巻町及び芦屋町訪問
 - 3月25日（金）鞍手町訪問

7 研修・講習等事業

(1) セミナー・就業体験・技能講習等事業

厚生労働省の委託事業である「高齢者活躍人材確保育成事業」を受託し、①高齢者や企業に対して、センターの積極的な周知・広報を行うとともに、②就業体験を通じて高齢者、企業双方のセンターに対する理解を深めることや、③高齢者がセンターに興味を持ち自信を持って就業できるよう必要な技能講習を行うことにより、センターの会員拡大及び新たにセンターを活用する企業等の増加を図った。

(ア) 事前会議の実施

事業の趣旨や事業の目的等をセンターに説明するための会議を開催した。

4月13日（火）オンライン会議開催

(イ) シルバー事業説明会、就業体験、技能講習に関する周知・広報

自治体広報誌、セミナー、新聞・テレビによる周知・広報を実施した。

① 新聞、雑誌による周知広報

読売新聞、西日本新聞、朝日新聞、毎日新聞及び情報誌に、技能講習会、就業体験、セミナーの開催告知を掲載した。

② 自治体の広報紙による周知・広報

技能講習会、就業体験、セミナーの開催について、開催地の地方公共団体の広報紙に掲載した。

③ イベント等による周知

しごとボランティア合同説明会（70歳現役応援センター主催）への参加など

※①～③及びテレビCM等の広報活動による新規入会者数 266人

(ウ) 説明会

- ・高齢者向けセミナー（主に女性を対象）（2回）

11月17日（水）

「市民と会員のつどい・シニア女性応援セミナー」 ウェルとばた（北九州市戸畑区）

参加者数 141人、うち新規入会者数 5人

1月24日（月）※新型コロナウイルス感染拡大のため中止

「シニア女性応援セミナー」西鉄ホール（福岡市中央区）

定員 230人

- ・企業向けセミナー（主に人事担当者対象）（2回）

12月14日（火）

「シニア人材活躍推進セミナー」毎日西部会館（北九州市小倉北区）

参加団体 7社

2月10日（木）

「シニア人材活躍推進セミナー」TKP博多駅前シティセンター（福岡市博多区）

参加団体 13団体（うち8団体はオンライン参加）

（エ）就業体験

・高齢者向け（8回）、企業向け（3回）（計11回）

高齢者向け（8回） 受講者106人、うち入会者15人

企業向け（3回） 参加者数40人、うち入会者5人

（オ）技能講習

・講習科目（9科目）

介護・家事援助、刈払機、子育て支援、事務補助、整理収納アドバイザー2級
剪定・チェーンソー、調理補助、ハウスクリーニング、マンション管理

・講習実施予定回数（計41回）

・講習定員目標（1講習15名程度）（計600名）

講習名	予定回数 (回)	開催数 (回)	受講開始者数 (名)	新規入会者数 (名)
介護・家事援助	5	5	52	8
刈払機	9	9	117	22
子育て支援	1	1	11	2
事務補助	2	2	42	5
整理収納アドバイザー2級認定	5	5	75	14
剪定・チェーンソー	9	8	132	17
調理補助	3	3	19	8
ハウスクリーニング	5	5	66	11
マンション管理	2	2	27	8
合計	41	40	541	95

※ 新型コロナウイルス感染拡大のため1講習を中止した。

※ (ア)～(オ)の新規入会者数合計 386人

(2) 研修・講習事業

(ア) センター役職員や実務担当職員を対象に、適正なシルバー事業の実施について情報を提供するとともに、会員の就業機会拡大、職員の資質向上を目指して研修・講習会を実施した。

① 役職員研修会（年間1回）

定時総会后、新型コロナウイルスの感染防止対策をして実施

（出席数を減らして開催）

6月17日（木）「インボイス制度の概要について」

県中小企業振興センター 24人（欠席センターには書面報告）

② 理事長研修会（年間1回）

11月5日（金）「福岡県シルバーへの期待」「女性の活躍促進」等

県中小企業振興センター 40人

③ 監事研修会 (年間1回)

3月 4日 (金) 県中小企業振興センター (オンライン同時配信)
会場21人、オンライン21人 計42人

④ 職員研修会 (年間2回)

2月 8日 (金) 請負業務担当職員研修会 県中小企業振興センター
オンラインによる研修に変更 50人

2月24日 (木) 新任会計担当職員研修会 県中小企業振興センター
オンラインによる研修に変更 35人

(イ) 地域ニーズにマッチした活動である福祉・家事援助サービス、子育て支援事業を推進することで地域の活性化に寄与した。また、県から「福岡県高齢者子育て支援推進事業(ふくおか子育てマイスター事業)」を受託し、地域高齢者の子育て支援活動の推進およびシルバー事業の活性化を図った。

① 子育てマイスター認定研修等の実施

・ふくおか子育てマイスター認定研修会 (年間4回)

久留米会場 久留米シティプラザ 9月 2日～ 9月22日うち7日間

→新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言発令に伴い日程変更

12月 6日～12月27日うち7日間 15人修了

飯塚会場 イヅカコミュニティセンター 10月 1日～10月20日うち7日間 11人修了

福岡会場 ふくふくプラザ 10月22日～11月 5日うち7日間 45人修了

北九州会場 コムシティ 11月11日～11月30日うち7日間 23人修了

・フォローアップ研修会 (年間8回)

新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、県と協議の結果開催回数を5回へ変更

第1回「子どもと遊び」 春日市 12月 2日 (木) 34人参加

第2回「保育補助のススメ」 福岡市 12月10日 (金) 49人参加

第3回「子育てボランティアのススメ」 北九州市 12月17日 (金) 22人参加

第4回「お母さん攻略法」 久留米市 1月13日 (木) 23人参加

第5回「発達障がいへの理解」 飯塚市 1月18日 (火) 34人参加

② 担当職員研修会の開催 (年間1回)

9月17日 (金) 台風により延期 10月21日 (木) 39人参加

③ 会員研修会の開催 (年間1回)

高齢者活躍人材確保育成事業の女性向けセミナーと共催で1月24日 (月) 開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

8 調査研究等事業

(1) 会員拡大・就業機会開拓に関する取組み

① 会員拡大・就業機会開拓に関する取組みの実施

- ・センターにおける会員拡大・就業機会開拓に関する担当者の設置を検討
- ・職員(広報担当者)を対象とした広報技術に関する実務研修を実施

3月10日（木）広報（写真・Webサイト活用等）実務研修 県中小企業振興センター
（オンライン同時配信）会場12人、オンライン38人 計50人

② 女性会員（シルボンヌ）拡大に係る女性事務局職員による会議の開催

- ・女性会員拡大に係る県内外の好事例収集、検討を実施
- ・スマートフォンの活用 広報活動としてSNS広告等を実施
- ・女性会員（シルボンヌ）拡大に関する委員会設置

委員は昨年度委員中のプロジェクトチーム構成メンバーに引き続き委嘱
（6センター6人、連合会1人 計7人）

第1回 8月26日（木） オンライン開催

委嘱状交付、要綱の説明、女性会員の状況、女性会員増のための取組み事例等

第2回 12月21日（火） 県中小企業振興センター

女性会員の現状・SNSを活用した情報発信の状況に関する意見交換、今後の取
組みの検討等

第3回 3月22日（火） 県中小企業振興センター

イメージブック制作報告、スマホ実態調査、SNS広報結果報告、意見交換等

(2) 高齢者活躍人材確保育成事業におけるアンケートの実施

本事業で実施する企業向けセミナーや就業体験等において参加企業や参加者に対し
アンケート調査を行った。また、結果を集計・分析し、会員拡大、就業機会開拓等に活
用するとともにセンターに対しても情報提供を行った。

(3) 高齢者の雇用・就業等情報の収集・分析及び提供

福岡労働局職業安定部職業対策課、ハローワーク及び県主管課等と連携し、求人情
報の収集・分析を行い、センター及び関係機関へ情報提供を行った。

(4) 業務年報の作成及び月次統計の集計・分析、結果の情報提供

シルバー事業の総括及び県内の人口構造及び高齢者の状況や会員の状況・受注件数
・事業実績等について調査、集計し業務年報を作成、各自治体及び関係機関・団体等へ
配布した。

(5) 子育てマイスターの活動調査の実施、結果分析、評価、事業効果の検証

① 子育てマイスター新認定者に対するアンケート調査の実施

② 子育てマイスター登録者約1,100人に対し郵送および電話で活動状況調査を実
施